

第11回 緩和ケア市民公開講座

庄内プロジェクト ～地域で支える緩和ケア～

がんに寄り添う 家族の想い

講演:

「悲しみを力に変える、
家での看取り」

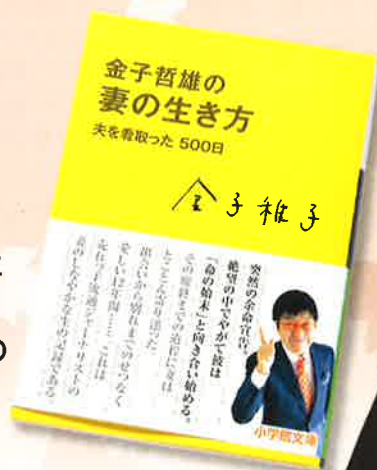
講師 ^{わか こ}金子稚子氏

座談会:「ひとりじゃないよ、地域で、みんなで」

プロフィール

終活ジャーナリスト
ライフ・ターミナル
ネットワーク代表

夫は、2012年10月に
他界した
流通ジャーナリストの
金子哲雄氏。



医療用ウィッグの展示・相談コーナーもあります



日時

平成29年 **11月25日** (土)

開場/13時00分 開会/13時30分～16時00分

会場

三川町 いろり火の里 なの花ホール

(電話 0235-66-4863)

主催/南庄内緩和ケア推進協議会

共催/鶴岡市、三川町、鶴岡市立荘内病院、鶴岡地区医師会

後援/鶴岡地区歯科医師会、鶴岡地区薬剤師会

入場無料 要申込

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川
(鶴岡市立荘内病院 地域医療連携室内)

電話: **0235-26-5180**

FAX: **0235-26-5156**

E-mail: kanwa.support@shonai-hos.jp

締め切り
11月20日(月)



どなたでもお気軽に、電話・FAX・E-mailで
お申し込みください。

第11回 緩和ケア市民公開講座

庄内プロジェクト～地域で支える緩和ケア～

がんに寄り添う家族の想い

平成29年 **11月25日** 開場13時・開会13時30分～16時00分

プログラム

13:30 開会

13:40 緩和ケア「庄内プロジェクト」について

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川 センター長

鈴木 聡氏

13:50 講演

講演テーマ『悲しみを力に変える、家での看取り』

講師 金子 稚子氏

14:50 休憩

15:00 座談会

『ひとりじゃないよ、地域で、みんなで』

ピンクリボンTsuruoka代表

瀬尾 美穂氏

鶴岡地区医師会訪問看護ステーション

斎藤 典子氏

ハローナース/訪問看護師

鶴岡市立庄内病院 緩和ケア認定看護師

阿部 美知子氏

コメンテーター

金子 稚子氏

進行 県立こころの医療センター看護主査

三原 美雪氏

15:50 閉会のあいさつ

16:00 閉会

会場案内図



庄内プロジェクトとは

厚生労働省の戦略研究である「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」鶴岡・三川地域では「庄内プロジェクト」と呼び、平成23年3月まで研究を行いました。現在は南庄内緩和ケア推進協議会が中心となり新しい体制の庄内プロジェクトとして緩和ケア普及のための活動を行っています。

金子稚子氏プロフィール

雑誌・書籍の編集者や広告制作ディレクターとしての経験を生かし、誰もが必ずいつかは迎える「その時」のために、情報提供と心のサポートを行っている。

また、多死社会を前に、人々の死の捉え直しに力を入れ、真の「終活」、すなわちアクティブ・エンディングを提唱。多岐に渡るさまざまな情報提供とともに、自分で「いきかた(生き方・逝き方)」を決める必要性を訴えている。

著書に『アクティブ・エンディング～大人の「終活」新作法～』(河出書房新社)、『死後のプロデュース』(PHP新書)、『金子哲雄の妻の生き方～夫を看取った500日～』(小学館文庫)。

編集制作・執筆に『親の看取り～親が倒れてから、介護・療養・終末期のすべて～』(e-MOOK 宝島社)。



第11回 緩和ケア市民公開講座「がんに寄り添う家族の想い」 参加申し込み書(FAX用)

ふりがな

お名前

他

名

お住まい

鶴岡市・三川町・酒田市・庄内町・その他()

申し込み締め切り
11月20日(月)

FAX番号：0235-26-5156

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川(庄内病院 地域医療連携室内)